様式第３号（第５、第６の１、第６の２関係）（その１）

警　察　署　協　議　会　会　議　録

折尾警察署協議会

開催年月日時	平成　３０年　　３月　１６日　午後　４時００分　から 平成　３０年　　３月　１６日　午後　５時１３分　まで	
開　催　場　所	折尾警察署　４階会議室	
出　席　者	警察署協議会	会長以下１１名
	警　察　署	署長、副署長、生活安全管理官、地域管理官 刑事管理官、交通管理官、総務課長、警備課長

議　事　概　要

【開会宣言】（総務課長）

ただ今から、平成３０年第１回折尾警察署協議会を開催する。

【会長挨拶（要旨）】

○　今年も早いもので３月となり県警の人事異動に伴い、折尾警察署の幹部の半数が異動となったと聞いており、後ほど紹介を受けたいと思う。

○　本年も地域と警察の架け橋となれるよう、皆様の意見をたくさんいただいて、警察署協議会をうまく運営していければと思っている。

【署長挨拶・自己紹介（要旨）】

○　本日はお忙しい中、警察署協議会にお集まりいただき、感謝申し上げる。

　また、平素から折尾警察署の業務に深いご理解とご支援をいただいていることについて、この場を借りてお礼申し上げる。

○　警察署協議会というものは、地域の皆様の声を直接聞き、その言葉を警察行政に反映できる大変重要な機会であると考えている。

○　本日も委員の皆様の知識経験に基づき忌憚のない意見を賜り、折尾警察署の運営に反映させていきたい。

○　昨年、福岡県警では２３件の不祥事が発生した。

議　事　概　要
これは全国一である。 折尾警察署から不祥事を発生させないために警察署長として綱紀粛正を図り、倫理教養を行うとともに、折尾警察署員のレベルアップを図り、管内住民が安全・安心を実感できるよう頑張っていく。 【転入幹部自己紹介】 ～　平成３０年春季人事異動で着任した警察署幹部の自己紹介　～ 【福岡県警察署協議会会長連絡会議結果報告（会長）】 １　公安委員会委員長挨拶 ２　県警本部長挨拶 ３　警察本部報告 (1)　平成２９年中の治安概況及び平成３０年福岡県警察運営指針等について（警務部長） (2)　飲酒運転の撲滅に向けた取組について（交通部長） ４　警察署協議会活動報告 (1)　小倉南警察署協議会 (2)　田川警察署協議会 (3)　柳川警察署協議会 ５　公安委員講評 【若手警察官の育成について（地域管理官）】 １　若手警察官の現状 (1)　福岡県警全体・当署の現状 (2)　大量退職時代の影響 (3)　若手警察官の特徴 (4)　若手警察官の実態 ２　育成、指導上の問題点 (1)　警察本部教養課の教養カリキュラム

議　事　概　要
(2)　若手警察官の個人格差 (3)　若手育成に関する取組 3　折尾警察署の新たな取組 (1)　ベテランによるコーチング (2)　組織的な人事管理 (3)　人事への反映 4　期待される効果 【質疑応答】 ○　委員から「売り手市場の中、人材確保は難しいものがある。警察ではどのように人材確保を行っているのか。」旨の質疑があり、総務課長から「管内大学に対しての業務説明や警察署での職場体験型採用説明会を開催している。また、若手警察官が自身の出身校へ訪問し採用活動を行っている。優秀な人材の確保は警察の重大な課題であり、地道な活動をやっていく。」旨の回答があった。 ○　委員から「警察官になる魅力をアピールしていかないと、優秀な人材が集まらないと思う。」旨の意見があった。 ○　委員から「学生期間（警察学校）でどのくらい辞めているか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から「警察学校で教官として勤務したが、高卒で１０ヶ月、大卒で６ヶ月の警察学校での教養訓練では、平均して１割程度辞職している。厳しい教養訓練に耐えた者が現場に出ているので、現場に出てから辞める者は少ない。また、優秀な人材確保のための適正な採用倍率になるよう採用募集に努めている。」旨の回答があった。 ○　委員から「若い人に対してネガティブな印象を持っている人も多いようだが、私はマイナスは裏返したらプラスにもなると思い、人を育てている。警察では同じ人が継続的に教育に携わっていないのが問題ではないか。専任の者を置くべきではないか。 　また、以前妻が車で追突事故を起こし不安になっていた際、担当した折尾警察署の若い署員にしっかりとフォローしてもらい、その署員にはとても感謝している。若くてもしっかりとした署員がいるので、これからも地域のために頑張って

議　事　概　要
仕事をしてもらいたい。」旨の意見があった。 ○　委員から「若手警察官のコーチングとはどのようなものか。」旨の質疑があり、署長から「警察においては、新任警察官が配属された交番で指導員を指定してマンツーマンで指導をしている。また、警察学校の担任教官と新任警察官は親と子のようなものであり、一生の付き合いとなるので、一人の警察官を長く見ることができる。さらに県警本部には教養課というものがあり、新任警察官がどの程度能力を身に着けたかの効果測定を行っている。」旨の回答があった。 ○　委員から「警察官育成について褒めて育てるというやり方もある。特に今時の若者については、褒めて育てることも必要だと思う。」旨の意見があった。 ○　委員から「以前も協議会で取り上げたが、九州女子大学周辺等の防犯カメラの設置促進についてはどのようになっているのか。予算的に厳しいのであれば警察だけではなく地域・自治体を含めて行っていかなければならない。」旨の質疑があり、生活安全管理官から「現在、折尾駅周辺や学園大通りについて防犯カメラの設置を行っている。中間市でも設置予定である。今後も自治体の補助金事業や企業のＣＳＲ活動（企業の社会的責任）で、ＪＡから無償で防犯カメラの提供を受けることを考えており、様々な事業を通じて設置促進に努めているところである。」旨の回答があった。 ○　委員から「防犯カメラは金額的にはどれくらいか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から「機能的なこともあり、一概には言えない。」旨の回答があった。 ○　委員から「警察としては今後どのような形で設置促進を進めていくのか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から「犯罪の発生状況に基づき、犯罪発生多発地区を中心に行っていく。」旨の回答があった。 ○　委員から「地域の安全は警察だけでなく、企業と一体となって取り組んでいかなければならない。警察から企業に話を持って行けば、企業は協力を惜しまないと思う。」旨の意見があり、署長から「北九州市には防犯カメラ設置の補助金制度があり、自治会のみならず一般の企業も対象となっている。条件はあるが企業に対しては設置費用の３分の１（上限１３万円）の範囲で、防犯カメラ１０台までについて補助金（最高１３０万円）が支給される。一般企業であれば最高１３０万円まで、自治会であれば２７０万円くらいまでは補助金が支給される制度が

議　事　概　要
北九州市にはある。中間市や遠賀郡４町についても協力をお願いしていきたい。このような制度を知ってもらえれば、防犯カメラの設置も進んでいくので、積極的に周知していく。」旨の回答があった。 ○　委員から「防犯カメラに関連して、企業のドライブレコーダー映像を警察に提供する協定を結んだが、この取組を進めてもらいたい。」旨の意見があった。 ○　委員から「自治会として防犯カメラの設置を目指しているが、優先度の高い場所での住民の同意は得られやすいが、生活道路については住民の同意を得られないことがあり課題となっている。」旨の意見があった。 【総括】 会長から「本日の意見等を今後の警察署運営に反映させていただきたい。」旨の総括があり、会議を終了した。 【辞職挨拶】 ～　今春で折尾警察署協議会委員を辞職する委員からの挨拶　～ 【閉会】（総務課長） 以上で、平成３０年第１回折尾警察署協議会を閉会する。

議　事　概　要

議　事　概　要

議　事　概　要

議　事　概　要

議　事　概　要